

あなたの町の「困った」から、 新しい仕事生まれる。

自分が暮らす地域を観察して、5つの困りごとを見つけ、その解決につながる仕事を発想するワークシート。コミュニティ視点・社会課題発見の入門練習として、自由研究・進路探究にも使えます。

小学高学年～中学生

50～70分

コミュニティ視点

印刷OK

— このワークシートでわかること

🏠 「世界の問題」より先に、「自分の町の問題」を見る

大きな社会課題（環境問題・少子化など）は遠く感じるけれど、自分が毎日歩いている地域にも、たくさんの「困りごと」があります。地域の小さな困りごとを丁寧に見つけ、解決する仕事を考えると、本当に必要とされる仕事生まれます。

STEP 1-2

地域を観察し、5つの困りごとを書き出す

STEP 3-5

1つに絞り、解決の仕事を発想する

STEP 6-8

発表・ふりかえり・シェア

1

あなたの「地域」を書こう

💡 まずは、観察する地域を決めて、その特徴を書いてみよう。

町・市の名前

例：東松山市・早稲田・〇〇町

どんな場所？

例：駅前が賑やか。でも少し歩くと住宅街。お年寄りが多く、子どもの遊び場は少ない…

どんな人が住んでる？

例：高齢者世帯が多い／子育て世代も増えている／一人暮らしの大人も…

よく行く場所・人

例：学校・商店街・スーパー・公園・図書館・近所のおじいちゃんおばあちゃん…

2

地域の困りごとを5つ書き出そう

💡 「これって不便」「もっとこうだったら」と思うことを、付箋に書く感覚で5つ。大小は気にせず、自分が感じたままに。

困りごと ①

例：おじいちゃんおばあちゃんが
買い物に行きづらい。バス停が遠
い。

困りごと ②

例：放課後、子どもの居場所が少
ない。

困りごと ③

例：商店街にお店が少なくなって
いる。

困りごと ④

例：地域のお祭りに参加する人が
減っている。

困りごと ⑤

例：外国から来た人が話す場所が
ない。

3

1つを選び、深く考えてみよう

💡 5つの中から「これが一番気になる」「自分が解決したい」と思う1つを選ぼう。

✏️ 選んだ困りごと

例：おじいちゃんおばあちゃんが買い物に行きづらい

😞 誰が、いつ、どこで、どんなふうに困っている？

例：80歳近いおばあちゃんが、足が悪くて重い買い物袋を持って15分歩くのが本当につらい。週2回必ず必要なのに…

😓 今、その人はどう乗り越えてる？

例：少しずつ買って、何往復もしている。家族が来た時にまとめ買い。でも家族は遠くて毎週来れない…

💡 今までの仕事になくてOK。困りごとを解決する新しい仕事を考えよう。

💡 例

「買い物おともサポーター」—— 高齢者の自宅まで来て、一緒に買い物に行き、荷物を持って帰り、おしゃべりもする仕事。週1回 1,500円～。

🌱 新しい仕事のアイデア

仕事の名前

何をする？

誰のため？

どこで？

いつ？

料金（目安）

必要な人数

5

AI・ロボに任せると、人間がする部分

💡 新しい仕事でも、AIに任せられる部分はある。何をAIに・何を人間に任せるか考えよう。

🤖 AI・アプリ・機械に任せる

例：注文の受付・支払い管理・スケジュール調整・お買い物リスト作成

👤 人間がする（一番大事な部分）

例：実際に一緒に歩く・おしゃべりする・体調を気にかける・家族へ報告する

6

地域がどう変わる？

💡 もしこの仕事が地域に生まれたら、地域はどう変わるか想像しよう。

例：おじいちゃんおばあちゃんが安心して買い物に行ける。週に1回楽しみができる。地元の若者の働く場ができる。地域のつながりが少し戻る…

💡 自由研究や寺子屋での発表に使えるテンプレート。

私の町には、困りごと という困りごとがあります。

特に、誰が がこのことで困っています。

私はこれを解決するために、新しい仕事の名前 という仕事を考えました。

この仕事は、何をする仕事か をします。

もしこれが実現したら、地域は どう変わるか になります。

🌱 地域を「困りごと」の視点で見たら、何が変わった？

🌱 自分は将来、地域とどう関わりたい？



家族に「この困りごと、本当にある？」「他にも困っていることない？」と聞いてみよう。



高齢者の家族・近所の人に直接困りごとを聞きに行ってみよう。新しい発見があるかも。



地域の市役所・区役所・町内会に「子どもが考えた地域貢献アイデア」を送ってみよう。
